

平成24年7月6日

与謝野町

第5回与謝野町庁舎統合検討委員会の結果について（速報）

標記委員会を開催しましたので、以下のとおりお知らせします。

日 時 平成24年7月3日（火）午後1時30分から午後4時45分
場 所 知遊館 2階会議室
委員出席 19名（欠席者なし）
町出席 堀口副町長
浪江企画財政課長ほか事務局職員3名
傍聴者 8名
会議結果 主な内容は、以下のとおりです。

<開会>

事務局から委員の出席状況と、町側の出席者を報告。

なお、町長は公務のため欠席の旨報告。

<委員長あいさつ>

村山委員長からあいさつ

<報告事項>

前回の会議で求めのあったことについて、次のとおり資料に基づき事務局から説明。

(1) 合併特例債発行期限の延長について

平成24年6月20日の参院本会議で被災地は合併後20年間、被災地以外は15年間にわたり発行が可能となる合併特例債延長法が可決を報告。対象事業の詳細は未定。

(2) 正職員、臨時・嘱託職員の人数及び給与等について

合併後の推移について、庁舎内・出先機関別に人数、給与、賃金等を説明。

(3) 地域振興課の主な業務について

現在、各庁舎の地域振興課が行っている業務の概要を説明。

<一括質疑>

○公的負担金は、どれくらいの比率になっているのか。

- 職員数の推移について、正職員が減ったので臨時職員が増えたと単純に考えてよいか。
- 週 20 時間以内勤務の臨時職員数は何人か。
- 障害者雇用の状況はどうか。
- 橋立中学校のセンター給食が実施されたが、正職員 1 名減、臨時職員 2 名増で運営はできているのか。
- 各地域振興課の職員数は何人か。もっと少ない人数でもできるのではないかと思えるがどうか。
- 町のたたき台に示されている地域振興課の業務（公金収納と住民窓口）をもっと増やす考えはあるのか。
- 今の分庁舎方式でも OK かとも思う。他の方法もあるのではないか？言えないのであれば、それでもよいが。
- 職員数について、行革目標である 230 人は達成するという理解でよいか。
- 行革では臨時職員は増やさないといった項目があったと思うが。
- 参考に合併前の平成 17 年度の岩滝、野田川、加悦の職員数がどうだったか教えてほしい。

<議事>

- (1) 町の案（たたき台）等の意見交換について（前回の続きから）
 - （6 ページ「2. 何故、今？」「3. 適正な庁舎の選定」「4. 庁舎統合に伴う課題と対応」）
 - 委員からは以下のような質疑・意見がありました。
 - 総合庁舎への提案が突然でてきた感じがあり、何故今なのかという思いをしている。何年後にはといった形でコンセンサスを持つべきであったと思う。
 - 必要な庁舎面積について、実際にこの面積が必要なのか。
 - 加悦庁舎という案だが、庁舎の改修を行わなくとも入るという案はあるのか。
 - 案では加悦庁舎エントランスの改修もあると聞くが、そこは加悦鉄道の転車台である。
加悦庁舎を総合庁舎とした場合の配置計画等は描けているのか。人員配置は今後減っていくことを見越した形となっているのか。
 - 何故今？の中で山積する課題として加悦中学校の改築、新たなごみ処理施設の建設等があるが、どのように関連するのか。
 - 合併特例債が 5 年間延長されるのであれば、この後に（平成 32 年までに）実施してもよいのではないかとも思う。交付税の縮減と庁舎統合とは全く別のもので、もう少し考える時間ができたと思っている。
 - 交付税の縮減約 12 億円を考えると機構改革なくしては対応できないのではないか。
 - 窓口業務と公金収納は残してあの業務は残さないとあるが、地域防災は残す必要があるなど、サービスの在り方を真剣に考える必要がある。

- 町の案で果たして町全体をまとめていくことができるのかと思う。今ここで町が2分するような総合庁舎にする必要があるのかと思う。
- 現在の地域振興課の業務で3庁舎とも基本的にすべての業務を対応してもらっていると思うが、案では窓口業務だけとなり、いわゆる門前払いとなってしまい、足の便がない人にとっては不便となる。
- 一般企業のように収支も大事だが町の役割というものもある。
- 加悦庁舎の改修費用が3億8,500万円とあるが、費用の修正もありうるのか。
- 今の業務を3庁舎とする場合、人の配置はどのようになるのか。
- 分庁舎のままとなった時に野田川庁舎（本館）はどうするのか。
- 庁舎の活用方法はどうされるのか。他の団体に貸す所が本当にあるのか。
- 野田川庁舎本館は非常に老朽化が進んでおり、税務課と住民環境課、地域振興課は加悦の庁舎に移らなければならないのではないか。
- 住民に対するサービスが低下しない限り、3つに分かれても1つになってもどこでもよいと思う。
- 窓口としての重要な業務は下の3つ（諸証明の発行と公金収納）だと思う。窓口の職員はどの職員でもできるし、交代してやるようすれば最小限の人数配置ですむと思う。
- それには異論があり、現状でもサービス低下で立腹されている方がある。住民サービスを重視するのではなくて行政効率を重視されていると思う。お金がかかっても住民サービスが上がるようなことを考えてほしい。
- サービスが上がることはいいことだが、サービスが低下しない範囲で住民負担がかからないようになればということ。
- 現状の3庁舎を残して進めることが必要だと思う。
- 現状では、地域振興課は何ら決済権がないし主な業務で住民に関係するものも少ないようであり、相談する時などは原課に行っている。こだわる必要はないのではないか。
- 地域振興課を来訪される人は何人あるのか。
- 総合庁舎方式をやりたいという町長の思いを我々がどう判断するかということだ。岩滝庁舎に約2億円を超えるほど投入して合併した。今度は3億8,500万円かけて加悦庁舎を改修して総合庁舎にするということだが、役場の機能は職員が入るだけではなく、庁舎機能を發揮するには、十分な民意を反映できる会合の場を有していることも必要で、今の案では、ただ職員を1か所にまとめるだけで、との機能が全くついていないという感じがする。
- 地域振興課がなぜ必要かというと、地域のことを知った職員がいることが大事であり、役場に行きやすい環境を整えることは町民のために良いことなので、地域振興課がなあってもよいという意見は若干暴論ではないかと思う。
- 何故今なのか？という思いがある。統合した場合、サービスが低下しないようにと言われるが、将来はなくなると危惧している。何をするにしても交通の不便なこの地域では

困る。ひまわりバスなど公共交通の充実を考えているのか。

○野田川庁舎の老朽化が問題となっているが、どのように考えているのか。北庁舎に移つてされるのではないのか。

○合併時に、近い将来には一本化しますよと町民に言っておけばよかったと思う。言つていれば合併しなかったかもしれないが。

○過去のことよりも、今こうなってこうした方がよいといった、前向きに先のことを考えて話を進めていくべきだと思う。

○20年ほどすると人口は7割になり、高齢になると老人ホームにお世話になることになる。先を見越した住民サービスは何なのかを考えると、あれもこれもしてほしいというような求めることばかりではなく、自分のできることを考えていく必要がある。

○今後、人件費は更に高くなる。パートさんにお願いできるところは任したらいいと思う。

○バイパスが通っているので移動にはあまり時間はかかるない。違う視点でみんなが譲り合つていけばそれなりのものができあがっていくのかなと考えている。

○前回の会議で、地域振興課の廃止による人件費削減効果が約3,850万円（年）と聞いているので、この改善だけでもできるのではないか。その上で庁舎統合について検討する必要があるのではないか。

○どこまでのサービスがしてもらえるのかが課題だと思う。基本的には従来のサービスができるかである。

○窓口業務に集中した議論となっているが、負担とサービスも議論が必要だが、ご承知のように岩瀬ではあのような運動もされており、そういったことを斟酌して検討していく必要がある。

○いろいろご意見があるようだが、そう言つてもいつまでも解決しないので、まとめるというような議論を高めていかなければならぬと思う。

○ずいぶん意見等も出されて、良いところも悪いところも出ていると思う。最終的に3分の2の賛成をもってということもあったが、どのようなことになるのか。

○合併特例債発行期限が5年間延長されたとはいえ、早く結論を出した方がよいと思うので、早くやっていただきたい。このまま12月頃までやっていかれるのか。皆さん、腹の中では考えておられると思う。住民感情もあると思うので、そういった中での協力体制も必要だ。みんなが良い方向にするにはどうしたらよいのかということを決めていくべきだと思う。

<委員長まとめ>

○あくまでも我々は答申をするために議論をしておりますので、両論併記でもそれは可能でありましょうし、もちろんスパッと一つに決まればそれでもいいと思います。

条件を先ほどから出ております、住民サービスを低下しないようにこういう方法がありますよとか、今の形で分庁方式のままでよいとか、支所方式にしても、別途こういう

方法がありますよとか、それぞれの知恵を絞っていただきまして、大体新たな方向をそれぞれ出しながら、次は話を進めていただけたらありがたいと思っています。

もうそれぞれ思っておられることは一つだと思っておりますが、12月まで引き延ばしても同じ結論になると思いますので、次の段階でもう一度真剣の議論をしていただきまして、それぞれの方向を出していただければありがたいと思います。中間まとめといいますと、問題があるかもわかりませんけれども、またご異論がある方があるかもしれませんが、ぜひそういう風に中間まとめに進められるようにお願いしたいと思います。

ご自身の意見をまとめておいてください。

他にこのことについてご意見のある方がありましたらお願いします。

特になし

(2) 課題の整理（中間まとめ）について

配布した資料に今回（第5回）の意見も含めて整理し、次回の委員会から中間まとめをする方向で議論いただきたい旨を事務局から説明し、了解を得る。

(3) その他

次回（第6回）会議を、7月30日（月）午後1時30分から開催（場所は未定）することを決定。

<副委員長あいさつ>

足立副委員長の閉会挨拶があり閉会。

<問い合わせ先>

与謝野町企画財政課

TEL 0772-46-3084

FAX 0772-46-4630